



暗唱・音読の大切さ

広戸小学校が古くから続けて取り組んでいることとして、「けん玉」とともに「(名文・詩などの)暗唱」があります。

何度も声に出して読んだり、暗唱したりすることで、語彙力の向上につなげたいとの考えから始まったそうです。語彙とは、あえて簡単に言うと「言葉」のことです。国語だけでなく、すべての教科・学習に語彙の量や質が大きくかわります。明治大学の齋藤 孝教授は、次のように述べています。～～～

なぜ、日本人の語彙力は低下しているのか？ その原因は素読文化の減衰にある、と私は考えています。素読とは、意味や内容を詳しく理解する前に、とりあえず声に出して本を読むことです。…(中略)…さて、意味より先に音と言葉に身体を慣らすという、文字どおり“習うより慣れろ”の素読。じつは、語彙習得のいちばんの近道なのです。

『語彙力こそが教養である』齋藤 孝 著より引用

意味がわからなくても、すぐれた詩のリズムを体感することが大切です。江戸時代の寺子屋で行われていた素読による暗唱のような学習は、現代でもとても大切なのだと感じます。

- ・意味がわかる音読
- ・意味がわかる暗唱
- ・意味がわからなくても声に出して読む音読
- ・意味などわからなくても覚えてしまう暗唱



どれもが大切で、どれも子どもたちの語彙を豊かにすることにつながるのではないのでしょうか。

さらに、齋藤 孝教授は次のようにも述べています。～～～

日本語を体得するという観点からすると、子どもの頃に名文と出会い、それを覚え、身体に染みこませることは、その後の人生に莫大なプラスの効果を与える。…(中略)…歴史の中で吟味され、生き抜いてきた名文を声に出して詠み上げてみると、そのリズムやテンポのよさが身体に染みこんでくる。そして、身体に活力を与える。心の力につながってくる。

『声に出して読みたい日本語』齋藤 孝 著より引用

言葉の学習だけでなく、身体そして心の教育にもつながり、これからの人生に大きなプラスになるということです。

夏休みから9月にかけての暗唱課題は、「あいうえお俳句 10 選」でした。10月の課題は「竹取物語」です。これまでも、全校児童が家庭学習で聞いてもらい、毎朝、児童玄関で声に出して唱え、校長室や職員室にテストを受けに来ています。他校に誇れる、すばらしい広戸小学校の文化・伝統の一つです。

これからも、子どもたちが家で暗唱にチャレンジしていたら、しっかり褒めてやってください。そして、お家の人も一緒に暗唱に挑戦してほしいと思います。

今年度の4月からの暗唱課題を学校ホームページ内の配付文書にアップしています。スマホやパソコンからも見るができますので、保護者の方、地域の方も、是非ご活用下さい。また、今後取り上げてほしい名文や詩などがありましたら、校長へリクエストして下さい。



運動会 10/3(土)

開会8:45 閉会予定11:10【下校 11:40】

今年のスローガン『力を合わせて 勝利をめざす 広戸っ子』

本番に向けて、よりよい演技を披露しようと 毎日練習に励んでいます。

「成長」と「感動」をお届けできる運動会を目指しています。是非ご覧ください！

・観覧席に地区のテントを立てられる場合は、当日午前7時以降にお願いします。

・「広戸小唄」には保護者、地域みなさんもふるってご参加下さい。

みんなで踊りましょう！

今年度から「玉入れ」に地域の方も参加していただけます。

※終了後、児童下校までに行う片付けに ご協力をお願いいたします。



令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果より

4月に実施した6年生対象の全国学力・学習状況調査結果および今後の取組についてお伝えいたします。

【学力調査結果】数値は正答率%

教科	国語	算数
広戸小	55	51
岡山県	62	55
全 国	60.9	56.4

〈国語〉話や文章の種類とその特徴について理解する問題での正答率が85.7%と高くなっている(県76.4%、全国76.7%)。いくつかの条件を満たした記述に課題が見られた。漢字の読み書きは、部分的には合っているが完答が少なかった。

〈算数〉帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取る問題の正答率が100%と高くなっている。分数(異分母の大小や数直線上での関係など)の問題の正答率が県より14.5ポイント、全国より13.1ポイント高くなっている。数量関係や表の見方、体積の意味や混み具合を答える問題に課題が見られた。

《共通》無回答の問題がほとんどなく、最後まであきらめず考え解答しようとする姿勢が見られた。

今後は、基本的な学習内容の確かな定着を引き続き大切にしながら、授業の中で自分の考えを明確に説明(表現)できる力の育成に力を入れていきます。さらに、自分のめあてをもって主体的に学びに向かう自立的学習者の育成に取り組んでまいります。家庭学習と連携した漢字学習にも取り組んでいく予定です。

学習状況調査結果の中では、以下の項目がとくに全国平均と比較して高いものでした。

※肯定的回答の割合

・自分にはよいところがある……………87.5%(+1.9)

()は全国との比較

・将来の夢や目標を持っている……………87.5%(+5.7)

・人が困っている時は進んで助けている……………100%(+7.3)

・困りごとや不安がある時には大人に相談できている……………87.5%(+16.9)

・友達関係に満足している……………100%(+8.9)



自己肯定感や他者とのかわりについて、良好で満足している児童が多いと感じます。しかし、平日の家庭での学習時間やSNSや動画視聴・ゲームの時間については全国平均とほぼ同じであった一方、「普段、家で読書をほとんどしない・全くしない」児童の割合が全国平均よりも、かなり高かった点が気になりました。日常的に本に触れ、読書に親しむ習慣づくりに、学校・家庭・地域で連携して取り組んでいきましょう。

お知らせ・お願い

・10月8日(木) いねかり 午前中に全校で実施します。5年生保護者、地域の皆様にはお世話になります。

・10月22日(木) つやま郷土学(校外学習)・・・1・2・3・4・6年 全学年がお弁当(給食なし)になります。

・10月28日(水) 5年生のみ社会見学(お弁当が必要)となります。

広戸小ホームページ

